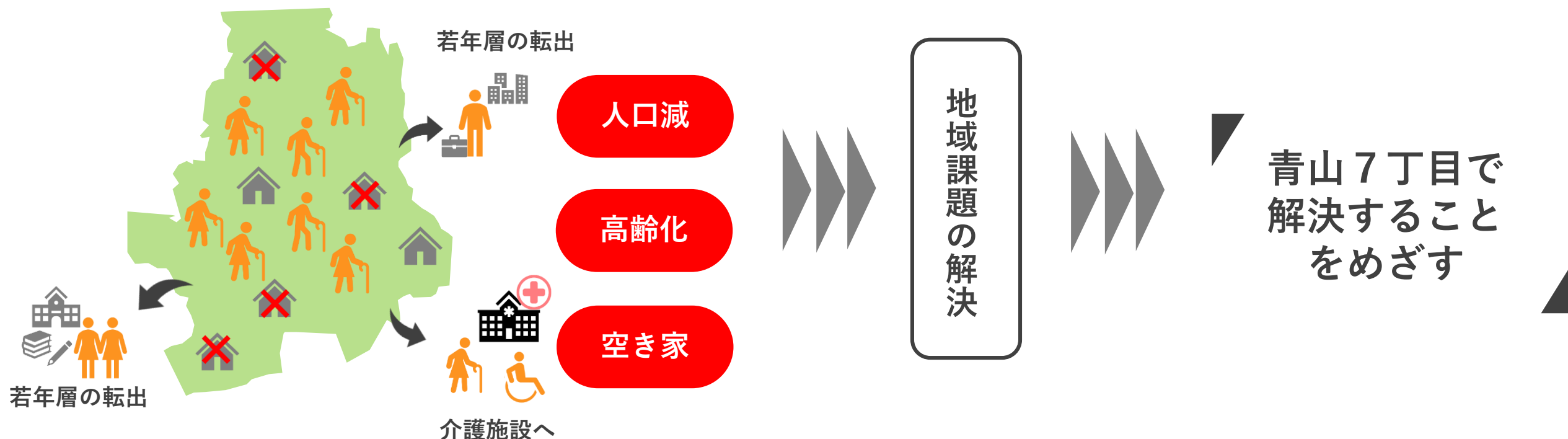
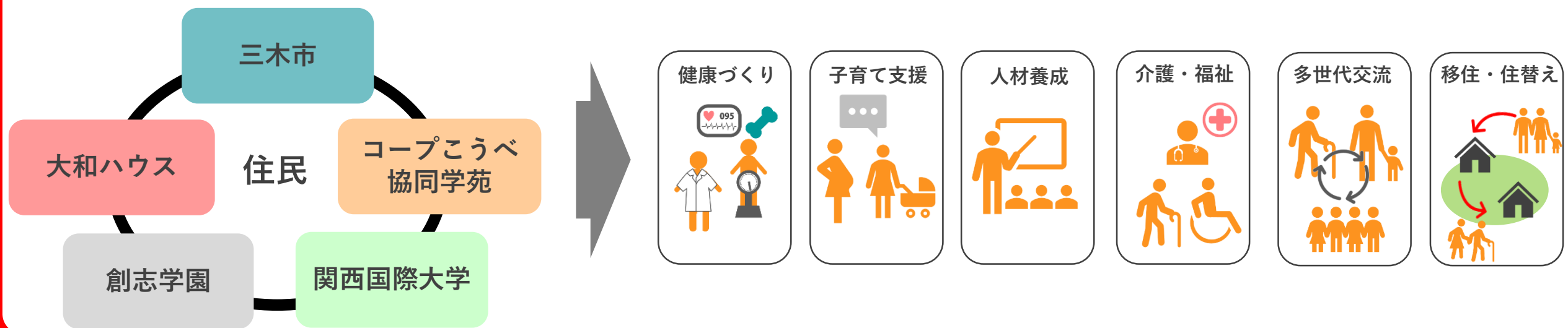


多世代の住民が快適でいつまでも住み続けられるまち



連携することで、魅力を高めいつまでも住み続けられるまちをつくる



※大和ハウス
コープこうべ協同学苑
創志学園
関西国際大学

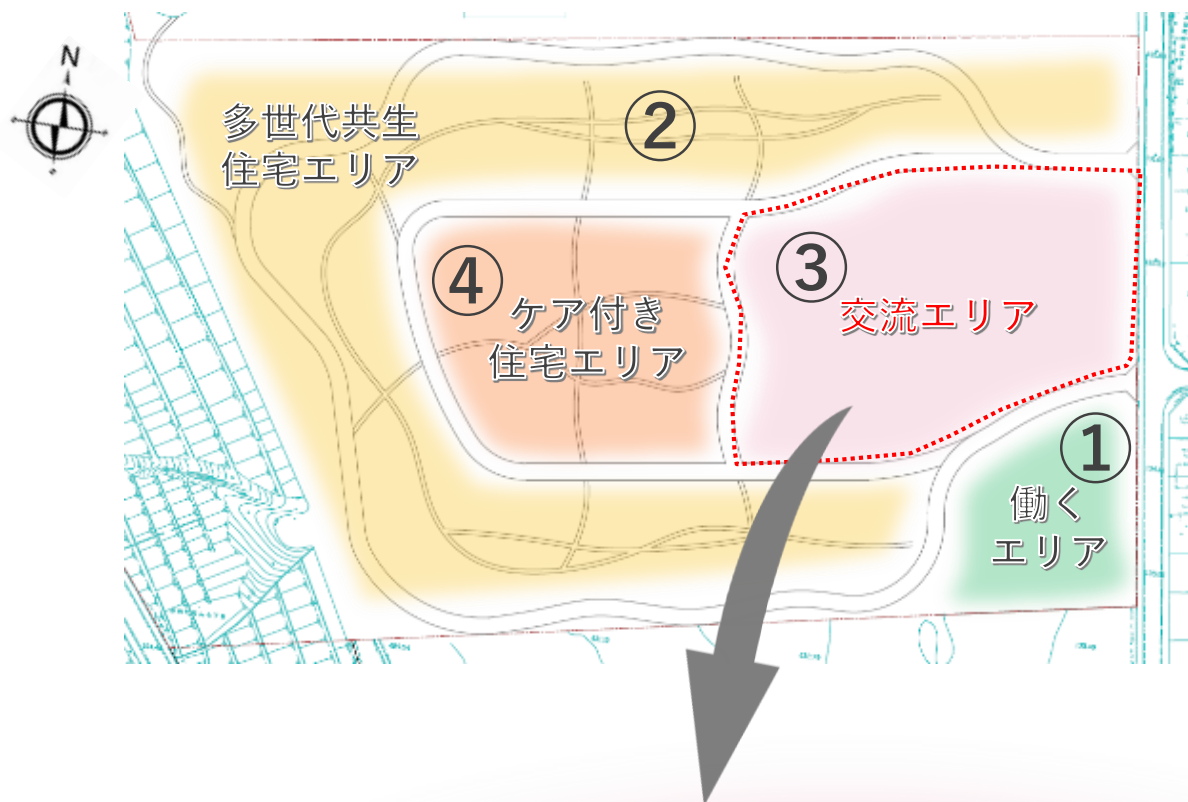
ハウスメーカーで大阪に本社を置く。青山、緑が丘の団地を造成。青山7丁目に空き地を所有。

青山7丁目にて研修、宿泊、レストラン施設等を展開。

学校法人で神戸に本部を置く。大学、専門学校、高校、幼児まで幅広く教育活動を展開。青山7丁目に空き地を所有。

青山7丁目にて野球グラウンド、学生寮を整備。

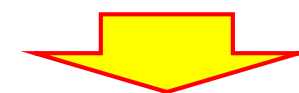
※この資料は計画イメージです。今後各課との協議、法的、事業的な面の検討を進め、変更改善していくものです。



■整備計画イメージ

- ①働くエリア ミニ胡蝶蘭栽培実施中
- ↓
- ②多世代共生住宅エリアの一部
- ↓
- ③交流エリア及び多世代共生住宅エリアの一部
- ↓
- ④ケア付き住宅エリア及び多世代共生住宅エリア

これまでの戸建住宅団地において、いつまでも住み続けられるまちをつくるために、必要な**要素（建物）**を**加える**ことにより解決をめざす。



現状では建物用途の制限があるため、**都市計画（用途地域）**の見直しの手続きが必要

【サービス拠点系】

- ・ **カフェ、レストラン等**
- ・ **リビングラボ（学び）**
- ・ **お試し居住施設等**
- ・ **クラウドワーク施設**
- ・ **子育て支援等**

【介護・福祉系】

- ・ **デイサービスセンター**
- ・ **特別養護老人ホーム等**

【事務所系】

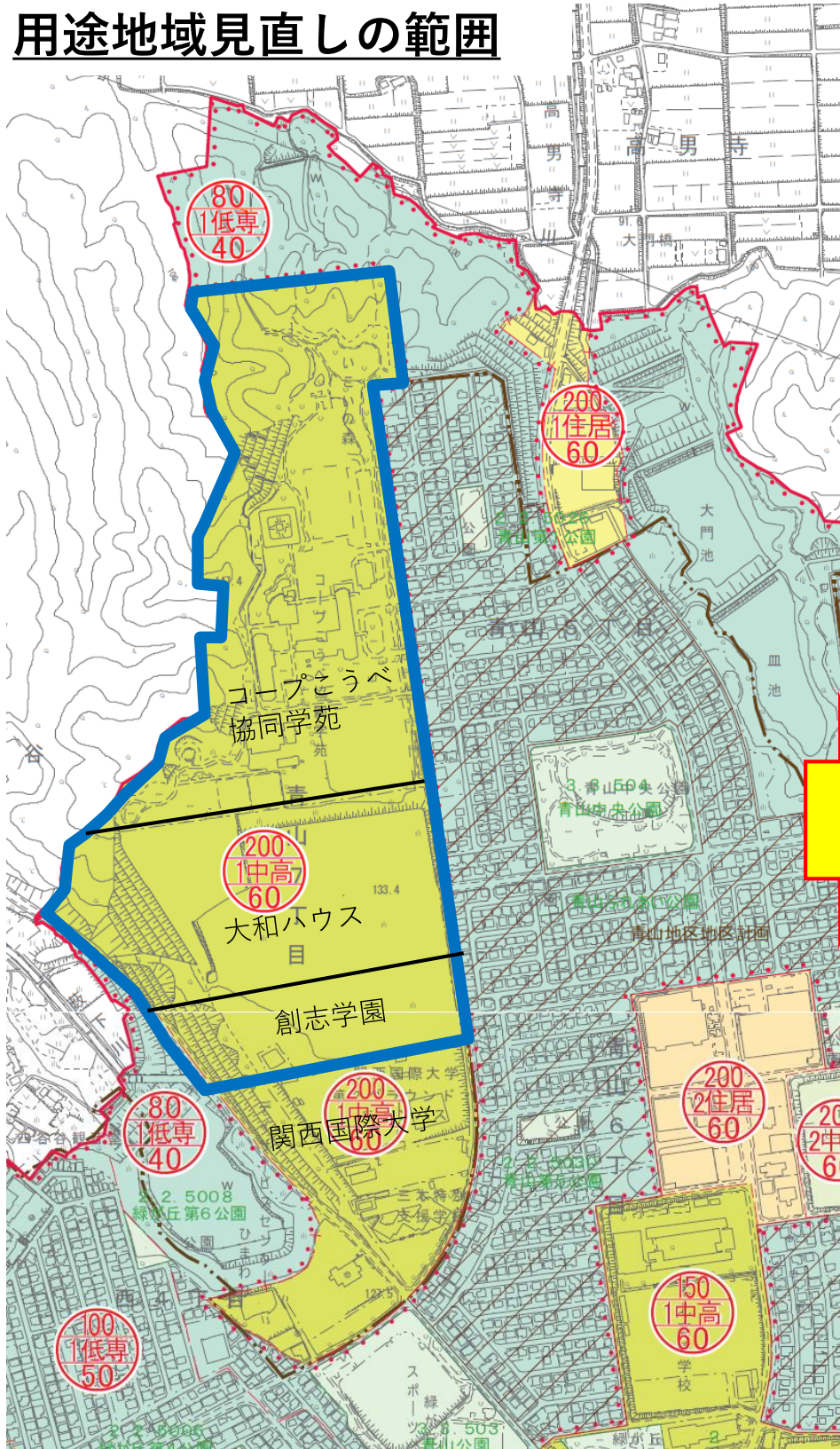
- ・ **生涯活躍のまち推進機構等**
- ・ **行政サービスステーション**
- ・ **サテライトオフィス**

赤字：用途地域の見直しが必要な建物用途

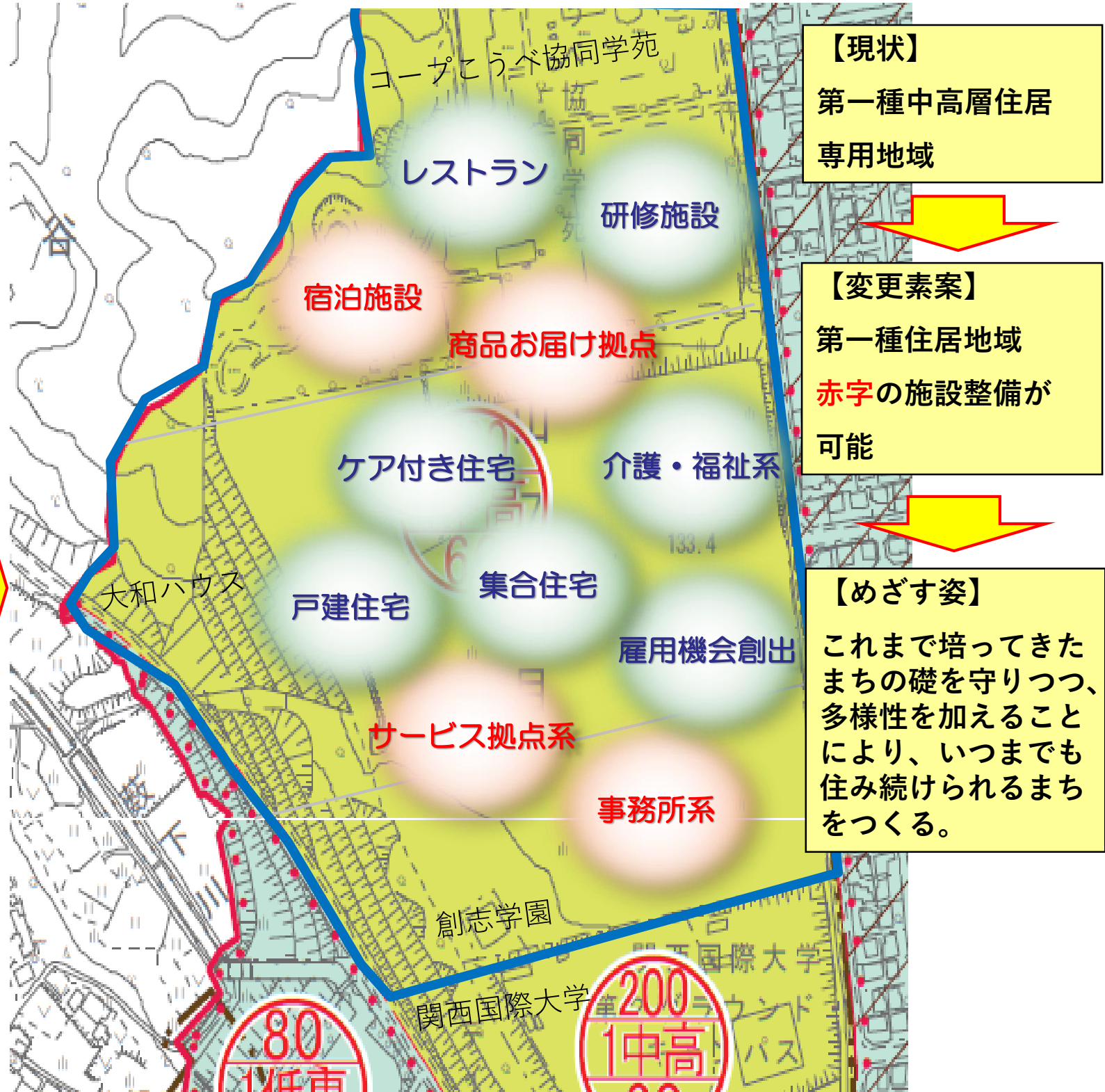
青山7丁目整備に伴う用途地域の変更について

2020年11月24日更新

用途地域見直しの範囲



7丁目全体が、連携し補完する建物用途イメージ図



【現状】
第一種中高層住居
専用地域

【変更素案】
第一種住居地域
赤字の施設整備が
可能

【めざす姿】
これまで培ってきた
まちの礎を守りつつ、
多様性を加えること
により、いつまでも
住み続けられるまち
をつくる。

□：用途地域見直しの範囲

赤字：用途地域の見直しが必要な建物用途

※この資料は計画イメージです。今後各課との協議、法的、事業的な面の検討を進め、変更改善していくものです。